

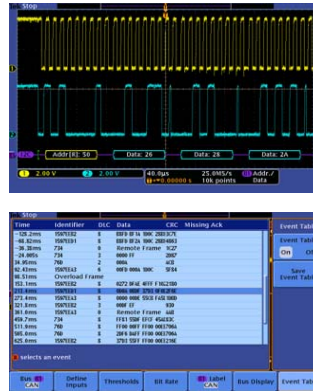
MSO/DPO3000 シリーズ vs. アジレント MSO/DSO7000A シリーズ

製品比較シート

シリアル・トリガ／デコード

テクトロニクス MSO/DPO3000シリーズ

- シリアル・バス・サポート — すべての機種で対応: I²C, SPI, CAN, LIN, RS-232/422/485/ UART, I²S/LJ/RJ/TDM
- バス表示 — 最大2つのシリアル・バスを同時表示
- バス・デコード — バス上の各パケットをデコードし、16進、バイナリ、10進またはASCII(シリアル規格により可能)で表示
- シリアル・トリガ — パケット内容にトリガ
- イベント・テーブル — 取込んだパケットを表形式で表示
- サーチ — Wave Inspector®により、アドレス、識別子などの特定の packets を設定すると、自動的にサーチし、マークを付ける



アジレント MSO/DSO7000Aシリーズ

- × シリアル・バス・サポート — I²C, SPI, CAN, LIN, RS-232/UART (4チャンネル機種のみ)
- × バス表示 — 1つのシリアル・バスを表示。画面下部に固定。移動できない
- × バス・デコード — バスの各パケットを16進でハードウェア・デコード。常に時間相関がとれているわけではない
- シリアル・トリガ — パケット内容にトリガ
- × イベント・テーブルなし
- × サーチ機能なし



右方向にパンすると、デコードは実際のデータから時間的にずれている

ナビゲーションと検索

テクトロニクス MSO/DPO3000シリーズ



- Wave Inspector
- ロング・メモリを簡単にスクロールするズーム／パン
- 再生／ポーズ・ボタンにより、自動的にスクロール
- サーチ／マークにより、興味のあるイベントをサーチしてマークを付け、マーク間を移動

アジレント MSO/DSO7000Aシリーズ

- × 水平軸スケール・ノブのみでズーム操作
 - × 水平軸ポジション・ノブでマニュアルによるスクロール
 - × サーチ機能なし
- × 水平軸ポジション・ノブでしかナビゲーションできない
 - × サーチ機能なし

主な仕様の比較

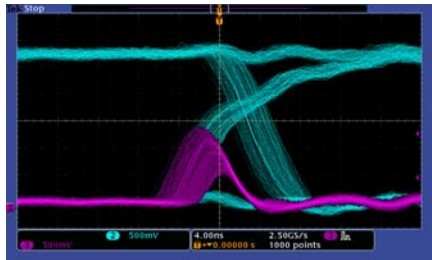
	テクトロニクス MSO/DPO3000 シリーズ	アジレント MSO/DSO7000A シリーズ
チャンネル数	○ 2, 4 (+16デジタルMSO)	× 2, 4 (+16デジタルMSO)
アナログ帯域	○ 100, 300, 500MHz	○ 100, 350, 500MHz, 1GHz
リアルタイム帯域 (全チャンネル:オン)	○ 2.5GS/s	× 4GS/s (1GHz機種) 2GS/s (その他の機種)
最大レコード長 (全アナログ・チャンネル:オン)	○ 5Mポイント	× 4Mポイント
入力インピーダンス	○ 1MΩ, 75Ω, 50Ω	× 1MΩ, 50Ω
ナビゲーション／サーチ	○ Wave Inspector®	× 水平軸ポジション、ズーム
パワー解析 (オプション)	○ 内蔵	× PCベース

MSO/DPO3000 シリーズ vs. アジレント MSO/DSO7000A シリーズ

製品比較シート

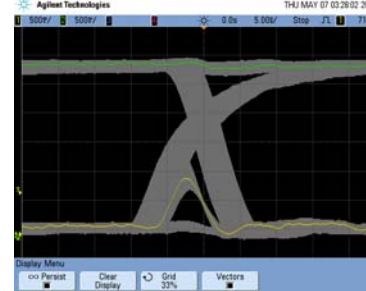
間欠的なパルスの捕捉

テクトロニクス MSO/DPO3000 シリーズ



- 毎秒50,000回以上の波形取込レート
- チャンネルごとに異なったカラーで表示
- 輝度階調表示により発生頻度を把握
- 停止した後も輝度階調は残る
- バリアブル・パーシスタンスも使用可能

アジレント MSO/DSO7000A シリーズ



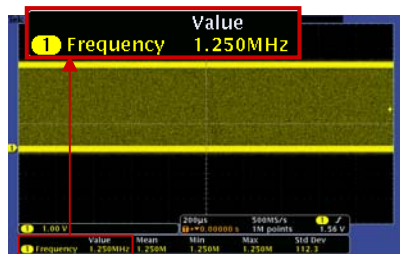
- 毎秒100,000回の波形取込レート
- × パーシスタンス・モードで保持された波形は輝度階調なし(取込中も停止後も)
- × 停止後は輝度階調が消失し、チャンネルの区別ができない - 最後の取込みのみを表示
- × バリアブル・パーシスタンスなし

測定とチャンネル演算

テクトロニクス

MSO/DPO3000シリーズ

- 全レコード長が使用可能 - 最大 5M ポイントで測定、アベレージ、演算、最大1MポイントでFFT
- 任意演算式による拡張演算
- スクリーンまたはカーソルによるゲート測定



アジレント

MSO/DSO7000Aシリーズ

- × 1000 ポイントのみで測定、アベレージ、FFT、演算を実行
- × 少ない演算子
- × ズーム以外にゲート機能なし



MSOによるデジタル・デバッグ

テクトロニクス MSO/DPO3000シリーズ

- サンプル・レートは、使用するチャンネル数に影響されない
- レコード長は、使用するチャンネル数に影響されない
- ハイ(1)の波形は緑で、ロー(0)の波形は青で表示される
- バス波形は移動可能
- クロック同期表示の平行バス・デコードも可能



クロック同期表示のため無意味なステートは表示されない

アジレント MSO/DSO7000Aシリーズ

- × 2つのポッドを使用するとサンプル・レートは半分になる
- × デジタル・チャンネルを使用すると、レコード長は犠牲になる
- × ハイとローの波形は色による区別がない
- × バス表示は画面下部に固定され移動できない
- × クロック同期表示ができない



クロック同期表示ができないため、無意味なステートが表示される